

平成23年度第1回弥生いこいの広場隣接地利活用市民懇談会
会議録

日時：平成23年11月25日（金） 午後6時半～午後8時20分
場所：船沢公民館第一会議室
出席：澁谷リーダー、メンバー9名 計10名
欠席：1名
事務局：4名

- 1 開会（定刻）
- 2 企画部長から委嘱状交付
- 3 企画部長からあいさつ

4 趣旨説明

企画課長から、資料1により、これまでの経緯、市の考え方、検討の進め方等について説明。

5 懇談会の進め方の説明

主に以下の点についてリーダーから説明した。

懇談会の進め方

この懇談会は、事務局からの案を議論するような形式では進まない。

自由な意見交換をして、それを書き込んだり、ポストイットに書いて貼ったり、色々なやり方を試しながら進めていく。

全て参加者の意見を聞いて、それを具現化しながら形にして残すというように進めていきたい。

「市民懇談会」で何をするか

この懇談会は、市長や市に提案するのではなく、市民に対して「私たちはこのように考える」と示す「市民向けのプレゼンテーション」の場と考える。

一方的に私が話すだけ、あるいは事務局から説明を受けるだけではなく、メンバー自身の経験や知識を混ぜ合わせて、新しいものを見つけるような懇談会にしていきたい。

6 弥生いこいの広場隣接地の変遷について

昭和23年から平成18年までの航空写真(資料2)を、黒板に貼った地図に投影し、その地図にリーダーが森林境界の線を引いた。

これによって、この土地が人々の生活の営みによって変化を重ねてきた土地であることを確認した。

7 メンバー自己紹介

メンバー全員が、自己紹介を兼ねて自分の考えなどについて順に発言。

以下のような発言があった。

- ・自然公園のような形にしたらいいのではないか。
- ・みんなの山であって欲しい。
- ・利活用の研究に関わってきた人の意見も反映させていきたい。
- ・スキー場の反対運動をして市と対立してきたが、話し合いが出来るようになったことを嬉しく思う。私たちが積み上げてきた情報は積極的に提供したい。
- ・出来るだけ自然を大きく損なう事はせず、みんなが自然を感じられるエリアをつくっていければ良い。

8 ポイントの整理

各メンバーのコメント等を踏まえて、リーダーがポイントを簡単に整理し、主に以下の点についてメンバーへ投げかけた。

- ・どこにどのようなお宝があるか教えて欲しい。
- ・この場所に子供達を連れて行くとしたら、どんな遊びが考えられるか。
- ・地元へ経済的に寄与するものがないか。
- ・かつてここで栽培していたものの事例があれば教えて欲しい。
- ・弥生いこいの広場などと一緒にどんなことが考えられるか。

9 情報提供・意見交換

植生の状況や、この土地で栽培されていたもの、「弥生いこいの広場」が整備された経緯や、かつて営業していた「弥生いこいの広場スキー場」などについて、参加者の記憶をたどりながら、この土地に関わる情報を共有した。

10 次回に向けた整理

次回から議論していきたいことをリーダーが例示した。

主なものは以下のとおり。

- ・ハッチョウトンボ、ザリガニ、残された木々などを市民に見せるとしたら、どうしたら良いか。
- ・山歩きに慣れていない人をどうやって入れるか。
- ・不法投棄が危惧されるが、その点を踏まえて、どう開放していくか。

1 1 その他の話題 ~ 防災機能等について ~

この土地は大量の水が集まる場所であるため、この土地のことを考えるには、下流に住む人の財産を守るために、防災にも気を配らないといけない。

1 2 事務局からの報告

以下の2点について、事務局から報告があった。

- ・懇談会での議論の進む方向にもよるが、まずは敷地内へ立ち入れるようにするために、平成24年度予算編成において、簡易的な遊歩道を整備する事業費を要求しようと考えていること。
- ・沈砂池に土砂がかなり堆積していることから、防災機能を確保するため、その土砂の浚渫に必要な費用も要求しようと考えていること。

1 3 まとめ

リーダーが以下のとおり整理した。

今日は、今までの変遷を見て、どのような使い方をしてきたのかを聞いた。それぞれ思いがあり、色々なことを経験されてきたことが良くわかった。

次回は、これから具体的に何をしていけば良いのか話し合う。今日書き込んだ地図に、さらにいろいろな情報を書き込んでいきたい。

それぞれが見たことや経験したこと、やろうと思うことを結びつけていく。それを通じて、「皆の山にするにはどうしたら良いのか」などの話を含めて煮詰めていきたい。

また、事務局から報告のあった件についても、人を入れるとしたらどうしたらよいか、ルートはどこにするかという話までしたい。

並行して、市民に対してこのような形でやると伝えていくためのことも考えていきたい。

1 4 閉会

最後に、次回の日程については後日調整することを確認し、第1回懇談会を閉会した。